



# とっとり

## 第116号

# 市議会だより

編集：市議会だより編集委員会

発行：鳥取市議会

### 市勢メモ

平成14年5月1日現在	
人口計	150,379人
男	72,729人
女	77,650人
世帯数	56,216世帯
面積	237.20km <sup>2</sup>

花よりリンゴあめ!? (久松公園にて)



### 3月定例会

## 平成十四年度予算可決

### 一般会計 553億9,800万円の骨格編成

三月市議会定例会は、三月八日から二十二日までの十五日間の会期で開かれた。市長提出の、平成十四年度一般会計予算など六十二議案、議員提出の「鳥取市議会の議員の定数を定める条例の制定について」など五議案をいずれも原案どおり可決した。四月に市長選挙を控え、当初予算は義務的経費や継続事業を主体としたいいわゆる骨格予算であり、政策的な新規事業等は六月議会で提案される。

平成十四年度当初予算は、一般会計で五百五十三億九千八百万円、特別会計(十三会計)で三百九十九億二千五百六十四万九千円、企業会計(三会計)で百五十四億三千八百八十三万二千円、予算総額は千七百七億二千七百四十八万一千円となり、対前年比四・六%の減となっている。

平成十三年度補正予算では、市営住宅西品治北団地建設費に二億九千二百八十六万六千円、公債費繰上償還に一億五千二百八十万円など一般会計で六億九千二百八十七万九千円を補正した。特別会計では、十二会計で総額六億七千六百六十五万七千円、企業会計では、水道事業で一億二千五百九十九万三千円の減額、病院事業で五億七千八百四十二万八千円の増額をそれぞれ補正した。

条例関係では、男女共同参画に関する理念や施策を規定する「鳥取市男女共同参画推進条例」、子供の健全育成と子育て支援を目的とする「児童・生徒の施設使用料等を無料にするための関係条例の整備に関する条例」など十九件が原案どおり可決した。

市長は、提案説明に当たり「市長としての三期目の任期も余すところ一カ月となった。市長就任から今日まで、市勢の発展と市民生活の安定、福祉の向上を願ひ、渾身の力を傾注して諸施策の推進に努めてきた。十二年間の経験を生かし、市の更なる発展のため四度市長に立候補させていただき、更なる市民生活の向上、市勢の発展のため微力ながら全身全霊で努力していきたいと考える」旨述べた。



# 各会派代表質問から

今期定例会では、新政会、民世会、公明党、会派21、共産党の順で三月十二日から四日間、わたり、市政全般について代表質問を行いました。今号では、そのうち二十八項目について質問・答弁の要旨を掲載しています。なお、今号から質問者氏名を掲載しています。

## 新政会

代表質問

本多達郎 議員

十四年度予算編成

**質問** 骨格編成の当初予算だが、重点施策、重要事業としてはどのようなものを考えているのか。

**市長** 四月に市長選を控え、当初予算は骨格予算で編成している。しかし、市政執行に空白や支障が生じないように、政策的経費であっても、現在実施中の継続事業や県からの権限委譲の対応など、年度当初に必要な経費は計上した。また、東部圏域の中核都市として、市町村合併への取り組みや七次総に盛り込んだ施策の着実な推進を念頭に置きながら、道路、公共下水道、農業集落排水などの都市基盤整備、高齢者保健福祉計画等に基づく福祉施策の充実、少子化対策、男女共同参画社会の

実現、環境問題、観光対策への取り組み等を重点施策、重要事業としている。



3月定例会で答弁に立つ西尾市長

交通バリアフリー基本構想

**質問** 鳥取駅周辺を対象とする鳥取市交通バリアフリー基本構想が策定されたとのことだが、その概要と特徴はなにか。

**市長** 基本構想の概要であるが、いわゆる交通バリアフリー法に基づき、駅から産業道路までの五百m、県庁までの千五百mを重点整備地区に定め、地区内の主要な公共公益施設への移

動経路を、平成二十一年度までにバリアフリー化しようとするものである。国、県、市、交通事業者、警察が協力し、歩道のバリアフリー化、駅構内のトイレやエレベーターの改良、バスターミナルの改良、駅前交差点のスクランブル化などを検討していく。特徴としては、

①策定委員に高齢者や障害者、公募委員を登用、さらにパブリックコメントで住民意見を積極的に反映したこと。②歩道上のアーケードを雨や雪に対応したバリアフリー施設として位置付けたこと。③民間施設のバリアフリー化推進のため、福祉のまちづくり計画を策定し、民間施設のバリアフリー化を包括的に支援すること。などである。

環境大学の周辺整備

**質問** 鳥取環境大学が開学して一年が経過する。学生住宅の建設など周辺整備の進捗状況はどうか。

**市長** 学生住宅の状況だが、第一期で二百六十名程度がマンションやアパートに住んでいる。一年目の学生の状況であるが、第一次入学手続きを済ませた三百八十九人中五十七%が県外の出身である。しかし、桂木・津ノ井地区の区画整理事業が進捗したこともあって、大学に登録された学生住居は現時点で約五百戸となっており、開学二年目の学生住宅確保は順調に進んでいると考えている。また、

市道生山若葉台線の整備、バスや鉄道のダイヤ編成などの周辺整備についても、関係者、関係機関と協議、調整を進めており、準備が整ってきている。



建設が進む学生向けアパート

障害児の就学基準

**質問** 文部科学省の新しい就学基準案では、障害児の普通学校への進学が弾力化される方向

## 市長提出議案

(可決されたもの)

\*三月定例会\*

- |      |   |
|------|---|
| 第1号  | 14年度鳥取市一般会計予算   |
| 第2号  | 14年度鳥取市各特別会計予算(土地区画整理費、下水道事業費、簡易水道事業費、公設地方卸売市場事業費、駐車場事業費、国民健康保険費、老人保健費、高齢者・障害者住宅整備資金貸付事業費、住宅新築資金等貸付事業費、土地取得費、墓苑事業費、農業集落排水事業費、介護保険費) |
| 第15号 | 14年度鳥取市各企業会計補正予算(水道事業、病院事業、介護老人保健施設事業)  |
| 第18号 | 13年度鳥取市一般会計補正予算(第5号)  |
| 第19号 | 13年度鳥取市各特別会計補正予算(土地区画整理費、下水道事業費、簡易水道事業費、公設地方卸売市場事業費、国民健康保険費、老人保健費、高齢者・障害者住宅整備資金貸付事業費、住宅新築資金等貸付事業費、土地取得費、墓苑事業費、農業集落排水事業費、介護          |
| 第30号 |   |





バリアフリー化された玄関(道義小学校)

である。教育長の考えと今後の対応について尋ねる。

**教育長** 文部科学省では、十三年度中に基準の見直しを行うとのことだが、まだ具体的なものは明らかにされていない。その趣旨としては、医学や科学技術の進歩で基準が実態に合わなくなっていることや、学校施設のバリアフリー化等により受け入れが可能になってきていることから見直しが図られているものである。就学指導は、医学的、心理的、教育的等の観点から専門家で構成する就学指導委員会に判定をお願いしてきたが、当然、今後は改正された基準をもとに判定がなされると理解する。その判定結果をもとに就学指導を行い、必要な施設や設備の改善を適宜行っていきたい。また、人的な整備も当然必要となるので、県教委とも協議していききたいと考える。

### 精神障害者福祉

**質問** 来年度から始まる精神障害者に対するホームヘルプ、ショートステイ、グループホームの三事業について、本市の対応を尋ねる。

**市長** 十四年度の当初予算で、ホームヘルプを十人分、ショートステイを延べ六人分、グループホームを施設一カ所計上している。ホームヘルプは、これまでモデル事業として県内六つの町で実施され、自立と社会参加の手助けとなる相談や助言を行いつながり、時には社会的に孤立しがちな精神障害者と社会との接点となるなど、大きな役割を果たすことが実証されている。ショートステイ、グループホームは、まだまだ実施施設が少ないうえ、今後はニーズの高まりがうかがえるところである。したがって、今後の推移を見きわめながら、精神障害のある方が地域で安心して生活していただけるよう取り組んでいきたいと考える。

### 夢フェスタ鳥取の受入体制

**質問** 国民文化祭「夢フェスタ鳥取」の開催まで、残すところ七カ月。受入体制はどのような

になっているのか。



受け入れムードを盛り上げる看板

**教育長** 交通機関については、飛行機の大規模運行や列車の増便等を要望する。期間中、県が総合案内所を鳥取駅及び鳥取空港に設置するが、土日祝日は市も応援体制をとる。なお、鳥取駅及び各会場では、市民ボランティアによる湯茶の接待をお願いしている。宿泊者数は述べ八千人程度と見込んでいるが、開催期間が二十四日間と長期のため、市内の宿泊施設で収容可能と予測している。また、鳥取の文化や歴史に触れていただくため、文化・観光施設の常時開館や入館料割引等の検討をお願いしている。美化清掃、会場のバリアフリー化、バスやタクシーのサービス向上等さまざまな対策があるが、全ての人に再度鳥取にきたいと思ってもらえるよう、おもてなしの気持ちをもって検討を進めたい。

### エクアドルチームキャンプ

**質問** エクアドルチームのキャンプにより、選手だけでなく世界各国から大勢の方が本市を訪れる。準備状況はどうか。

**教育長** キャンプ委員会事務局に七人の専任スタッフを配置し運営にあたっている。チームには、ベストコンディションで試合に臨めるよう、日程や希望に沿った宿泊施設や練習会場を確保した。輸送や警備は、日本組織委員会のガイドラインに基づき、県警本部の協力を得て万全な計画を進めている。プレス関係や外国人サポーターの宿泊施設は、市街地のホテル等で言語等を含めた対応に取り組んでいただいている。また、多くの外国人や県外の方を温かく迎えるため、空港、駅などの交通ターミナル、商店街、行政機関等に



キャンプ委員会事務局

第31号	保険費
第32号	13年度鳥取市各企業会計補正予算(水道事業、病院事業)
第33号	鳥取市職員の特殊勤務手当てに関する条例の一部を改正する等の条例の制定
第34号	公益法人等への職員の派遣等に関する条例の制定
第35号	基金に属する現金の運用方法の見直しに伴う関係条例の整理に関する条例の制定
第36号	鳥取市男女共同参画推進条例の制定
第37号	鳥取市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の制定
第38号	児童・生徒の施設使用料等を無料とするための関係条例の整備に関する条例の制定
第39号	鳥取市情報公開条例の一部改正
第40号	政治倫理確立のための鳥取市長の資産等の公開に関する条例の一部改正
第41号	鳥取市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正
第42号	鳥取市職員の育児休業等に関する条例の一部改正



は、看板、懸垂幕、エクアドル国旗を設置し歓迎の意をあらわしたい。また、観光協会等に通訳を配置した案内所を設け、サッカーだけでなく観光情報も提供して鳥取をアピールしたいと考えている。

**関連質問**

**不在者投票所の増設**

森田 雄一郎議員 市役所第二庁舎の不在者投票所は少し不便である。地方自治、民主主義確立の観点から増設できないか。

選挙管理委員長 有権者が少しでも投票しやすくすることは、ひいては投票率の向上につながる。さらには市政の発展に寄与するもので、考え方としては理がある。しかし、确实で公正な選挙を確保する観点からすると、不在者投票所が複数の場合、二重投票や替え玉投票といったことを防止する意味で問題があるかと考える。そうした技術的な面と、人員体制など実施面の体制が条件的に十分整えば、積極的に検討はしていきたいと考える。

**子供の休日活動支援**

高見則夫議員 学校週五日制

の導入に伴い、子供の休日活動支援をどのように取り組んでいくのか教育長に尋ねる。

教育長 学校週五日制は、地域の人たちとの交流や遊びを通じて社会性を培い、希薄化した人間関係を回復する絶好の機会ととらえている。そのため、休日活動支援は、単に子供たちだけでなく、地域の大人や親子の活動が促進されるよう配慮しながら進めていきたい。具体的には、①地域の推進体制の整備充実、②子供を参加させた各団体の活動に対する支援、③親子の休日活動を促進する各種活動やイベント等の積極的な情報提供、④子育てに関する保護者への啓発活動、以上四つの取り組みを柱にしたいと考える。なお、これらの休日活動を支援するため、高校生以下の児童生徒について、わらべ館、やまびこ館、体育館などの休日使用料無料化を今議会に提案するようにしている。

**東部市町村合併研究会の存続**

村山洋一議員 合併の協議をスムーズに進めるため、東部地域における市町村合併に係る研究会を残すべきではないか。

市長 合併研究会では、今年九月に関係の議会に合併協議会の設置を提案できるように目標を

定め、関係市町村間の協議を進めるべきとしている。東部圏域は一つの生活圈となつてきているものの、構成市町村も多く、郡単位のつながりも強いものがある。このため、合併パターンも考慮し、鳥取市長が東部十五市町村の合併パターンの代表世話人、岩美郡は国府町長、八頭郡は用瀬町長、気高郡は鹿野町長、それぞれが世話人として選出されている。今後は、これら各世話人を中心として関係市町村の調整を進め、合併の枠組みの協議を進めていきたいと考える。

**ペットボトルの利用抑制**

上杉栄一議員 分別収集が開始されるペットボトルだが、リサイクルに大変コストがかかる。利用の抑制を考慮すべきでは。



スーパーに設置されているペットボトルの回収箱

市長 ペットボトルは、収集時にかさばって回収コストが影

らむうえ、リサイクル製品の再生が大変難しいという問題点もあり、リサイクル率は頭打ちである。循環型社会を構築するために、ごみの発生抑制を第一に考え、利用を抑制することが大変重要になってきている。町内会などの分別説明会の場でも、安易にペットボトルを購入せずに、缶や瓶などリサイクルが容易な商品を購入していただくよう啓発しており、今後も特にこの点を強調していきたいと考えている。大変便利で使いやすいものの、最終的なりサイクルも難しいペットボトルである。消費者の希望とリサイクルの場面との間で大変難しい問題を抱えているが、なるべく利用を控えて生活していただくことが大切になってきていると考える。

**湖山地研究所の設置**

國重三郎議員 水質浄化などさまざまな問題を調査・研究するための湖山地研究所を、市長の英断で設置すべきと考えるが。

市長 先日の湖山地浄化対策協議会においても、同様の提案がなされたことは承知している。しかし、その場でも結論に達しておらず、県も現時点では白紙の状態である。財源や人材確保の問題もあり、独自の研究機関

第43号	鳥取市税条例の一部改正
第44号	鳥取市手数料条例の一部改正
第45号	鳥取市ホームヘルパー等派遣手数料及び訪問入浴サービス手数料の徴収に関する条例の一部改正
第46号	鳥取市特別医療費助成条例の一部改正
第47号	鳥取市母子生活支援施設条例の一部改正
第48号	鳥取市介護老人保健施設事業の設置等に関する条例の一部改正
第49号	鳥取市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正
第50号	鳥取市改良住宅等の設置及び管理に関する条例の一部改正
第51号	鳥取市消防団等公務災害補償条例の一部改正
第52号	地方公共団体の特定の事務を郵政官署において取り扱うことの協議市道の路線の認定市道の路線の変更財産の無償譲渡工事請負契約の変更
第53号	
第54号	
第55号	
第56号	
第57号	
第58号	13年度鳥取市一般会計補正予算(第6号)
第59号	13年度鳥取市各特別会計補正予算(土地区画
第62号	



でなければならぬのかという議論もある。県内には、水産試験場、農業試験場、林業試験場、鳥取大学、環境大学などの施設もあり、お互いが連携し、力を合わせていくのも一つの考え方である。例えば、鳥取大学や環境大学に委託研究をお願いするとか、付近住民の方々に毎日の調査をお願いするなど、いろんな観点から検討してみる必要があると考えている。大変貴重な御意見であり、今後の提言として受けとめさせていただきたい。

### 会派異動

次のとおり、会派結成届が提出されました。

○二月二十二日付け

会派の名称

無所属

所属議員

藤 堀 喜 和

○四月三十日付け

会派の名称

無所属

所属議員

上 杉 栄 一

○五月二日付け

会派の名称

無所属

所属議員

伊 藤 憲 男

## 世代会

代表質問

藤原繁徳 議員

市町村合併の所見

質問 合併後の財政問題と、過疎地域との合併について所見を求めます。

市長 合併研究会の財政推計では、東部十五市町村が合併すると、行財政の効率化が図られ、百五十億円の基金増資、公共投資も増増できると推計され、住民要求や経済の活性化に資することができると考える。過疎地域との合併は、行政サービス低下が懸念されているが、広域的視点で、地域特性を生かした総合的活力の強化が期待できる。機能分担しながら地域づくりができ、中山間地の地域振興策も可能になると考える。



市町村合併シンポジウム

都市への課題と地方分権

質問

七次総での具体的な都市像と、地方分権が推進されないことについてどう考えるか。

市長 「みんなでつくる明るくにぎわいのあるまち鳥取」をキャッチフレーズに、「心豊か

なまち」「明るいまち」「にぎわいのあるまち」を目指すべき都市像として、その実現に努めていきたい。地方分権の推進は、地方分権一括法により制度面である程度整備されたものの、真の地方分権の確立に不可欠な財源の充実、確保についてはほとんど未整備で、それが地方分権推進にとって大きな障害となっている。財政力格差を是正する交付税制度の役割は依然として重要であり、今後も継続して国に要望していきたい。

行政の文化化

質問 行政の文化化という観点から七次総の具体的施策を尋ねる。また、県立美術館の今後の動向と市の対応は。

市長 地域の特性を十分に踏まえ、市民が共有できる魅力ある鳥取文化の創造に努めたい。具体的には、生涯学習活動の中で、鳥取文化に関する各種講演

会やシンポジウム等の開催、郷土の伝統芸能や文化財、自然等に市民が触れ合う機会を拡充していきたい。また、画一的になりがちだった公共施設等の整備に当たっては、可能な限り鳥取らしさや文化的要素を取り入れ、行政の文化的展開を積極的に推進していきたい。県立美術館については、十三年度に立ち上げた美術館ソフト事業検討協議会等であり方を調査・検討中であり、引き続き建設を県に要望していきたい。

農地利用のビジョン

質問 担い手中心の農地利用を指導する専門職員の配置、遊休農地を活用した放牧経営を提案するが、市長の見解は。

市長 農地利用等については指導・助言を行うには、法律や制度等の知識、作付その他の



遊休農地の活用策は？

### 議員提出議案

整理費、下水道事業費、簡易水道事業費、農業集落排水事業費

〈可決されたもの〉

第1号 鳥取市議会の議員の定数を定める条例の制定

第2号 鳥取市議会会議規則の一部改正

第3号 オストメイト（人工肛門・人工膀胱保持者）用具の自己負担軽減を求める意見書

第4号 ワークシェアリング等積極型雇用対策の確立を求める意見書

第5号 雪印食品等牛肉偽装事件の徹底解明と食品表示制度の改善・強化を求める意見書

### 陳情と結果

〈採択となったもの〉

○千代川流域の水質保全についての陳情

（田園町 道上正矩）

○地方交付税の削減に反対し、地方財源拡充を求める意見書提出についての陳情

（伏野 植谷和則）

〈不採択となったもの〉

○公共工事発注に関する陳情

（富安 長谷川忠良）

○緊急雇用対策に関する意見書提出についての陳情

（西町 村口徳康 外一名）



技術、情報等が幅広く必要である。このため、少数の専門員で対応するより関係機関の職員が一体となって対応する方が、より現実的で有効性があるのではないかと考える。遊休農地の放牧利用については、希望される農家がなく、取り組まれていないのが現状であるが、遊休農地の活用方法の一つとして、今後対応させていただければと考えている。

### 学校週五日制と学力低下

**質問** 学校週五日制導入による学力低下の不安に対し、教育長はどう考えるのか。

**教育長** 学校週五日制を含む新学習指導要領で、学習内容は厳選され、授業時間も減る。従って、学力が低下するのではないかとという心配は理解できる。しかし、学力は単なる知識の量ではなく、みずから学び、考える力を身につけているかどうかでとらえるものであると考える。学力のとらえ方はいろいろあるが、大きな教育改革の中で、学力の量から質への転換が求められている。新学習指導要領の趣旨をまず教員自身がしっかり研修し、身のある教育実践を積み上げていくよう指導していきたい。

## 公明党

関連質問

銀杏泰利 議員

人件費削減の考え方

**質問** 県の給与カットで、他市町村も人件費削減の動きがあるが、市長の所見を尋ねる。



鳥取市役所本庁舎

**市長** 人件費の削減は、民間給与や職員の勤務意欲への影響等も考慮すべきである。また、現在まで積極的に行財政改革に取り組んできた結果、本市のラスパイレス指数は九九・七、人件費比率は一一・四五%と全国の都市で一番目に低く、人口に占める職員割合も七番目に少ない。したがって、県の措置に直ちに追随せず、本市の状況等を総合的に検討し、慎重に対応するべきと考える。しかし、現在の社会情勢を考慮すれば、人件

費の抑制は必要であると認識し、特殊勤務手当の見直しや時間外勤務の抑制を検討しているところである。

### 鳥取砂丘の松林伐採

**質問** 砂丘を本来の雄大な姿に戻すため、可能な限り松林の伐採を進めるべきではないか。

**市長** 砂丘の保安林除去については、砂丘観光活性化懇談会の提言にも盛り込まれている。県もニセアカシアを一部伐採するなど、景観復活に向けた努力がなされている。しかし、砂丘周辺の松林は飛砂防備保安林の指定があり、法で認められた範囲内では伐採は認められていない。現在、砂丘景観保全協議会で、保安林が砂丘に及ぼす影響や砂の移動量の調査を実施しており、その結果を待ちたい。結果次第では、保安林であっても伐採が認められるようになるのではないかと考える。その上で、市民の御意見はしっかりと伺いたい。

十四年度はどうなるのか。

**教育長** 今年度実施したIT講習会は、多くの公民館でキャンセル待ちが出るほど好評であった。十四年度も講習会の実施を考えており、実施場所も従来どおり、全地区公民館と分館、働く婦人の家、勤労青少年ホーム、生涯学習センターなど三十七施設を予定している。講習内容は一つに大別し、一つは初心者用の基礎講座で、電源の入れ方から、インターネットやメール等を学習するもの。もう一つは基本操作が可能な方を対象とする初級講座で、ワードやエクセルの基礎を中心とするものである。



市民に好評のIT講習会

### 乳幼児の障害認定

**武田えみ子議員** 障害認定は

満三歳以降ということだが、手帳の有無で大変な違いがある。何か救済する方法はないのか。

**市長** 乳幼児は心身とも発育

選挙管理委員長 電子投票システムについては、概要や費用の問題、メリットとデメリットなど、残念ながら現時点でお答えできるまで承知していない。電子投票を導入するかどうかについては、実際に投票される市民の意向を十分考慮する必要があるが、事務の効率のみを優先すべきものではないと考える。

**石谷勇雄議員** 本市が仮に電子投票を採用した場合、初期経費等ほどの程度になるのか。

### 電子投票システム

途中で、四肢の欠損等以外は障害が固定していないとして、国はおおむね満三歳以降の認定を指導している。補装具や生活用具の交付、医療費の助成、交通運賃の割引等の制度は、障害者手帳の交付が前投とされており、現行の福祉制度では救済は困難な状況である。しかし、制度のはざま、親子で苦勞しておられる姿は察するに余りあり、個人の制度が手帳所持者に限定することなく、障害に準ずる状態を広く認定し、実態に合わせた柔軟な対応が図られるよう望むものである。

### 関連質問

IT講習会の継続実施

**山崎健一議員** 公民館等で実施されてきたIT講習会だが、



# 会派21

## 代表質問

谷口満議員

### 災害時の備蓄体制

**質問** 阪神淡路大震災で浮上し、県西部地震で生かせなかつた課題の一つが備蓄の問題である。本市の備蓄体制はどうなっているのか。

**市長** 災害時に対応する物資備蓄は、県と市町村との連携によって行う。避難人口は全人口の一割と想定し、その三分の一を備蓄しなければならないが、本市は九千八百人分、一ユニット二百人分として四十九ユニットになる。これを十四年度から三カ年で備蓄する計画である。仮に保管を運送会社のコンテナ利用にすると、一ユニット一基が必要となり、年間約一千万円の費用がかかる。このため、コンテナ備蓄は衛生管理が必要な食料品にとどめ、その他の品目は各小学校や地区の体育館に分散して備蓄する計画である。

## 関連質問

### 浄水場建築設備の発注時期

寺垣健二議員 昨年十二月、

浄水場の建築設備工事の一部が発注されている。これは、岩による造成の遅れを察知した上で、急いで発注したのではないか。



浄水場造成工事現場

**水道事業管理者** 昨年十二月の時点で、造成地に中硬岩なり硬岩があることは判明していたが、一期造成の掘削を進めながらその範囲を把握したところである。この岩のために、造成工事が遅れると、はっきり予想されたのは、今年の一月末頃である。当初は軟岩と予想していたが、中硬岩なり硬岩があることが判明し、その範囲を把握できたのが一月末ということであり、御指摘のようなことはない。御理解をいただきたい。

## 嘱託職員の公募

**佐々木紘一議員** 嘱託職員は、意欲のある方になっていただけようか公募とし、ある程度採用

年限も切つてはどうか。

**市長** 現在の嘱託職員は、保育士の職について公募を行っている。今後、公募する職種の拡大や採用期間等については、任用のあり方を見直す中で検討していきたい。例えば、税の徴収事務などは、一般的に嘱託職員という形での公募は難しいのではないかと議論もあり、そうしたことも職種ごとに分析しながら、公募のあり方について検討していきたい。とにかく一般職を採用するような形にはならないと思われ、その辺の難しさがあることだけは御理解いただきたい。

# 共産党

## 代表質問

村口英子議員

### 同和対策事業の対応

**質問** 同和対策の特別措置法が十三年度末で失効する。今後、市は同和对策事業にどう対応されるのか。

**市長** これまでの同和行政の推進により、住環境面では一定の成果をあげ、改善がされてきた。しかし、県が実施した同和地区実態調査によると、教育、就労、産業等の面でなお格差が見られるなど課題は残されている。

る。本市としては、特別対策の終了が同和問題の早期解決を目指す取り組みの放棄を意味するものでないと認識し、一般対策移行後も、地域の状況や事業の必要性の確な把握に努め、真摯に施策を実施していくことが求められると考えている。したがって、今後とも差別が現存する限り同和行政を市政の重要な課題として推進していくという気持ちである。

## 関連質問

### 環境アドバイザー

**小橋太一議員** ごみの分別などの環境問題を、市民一体となつて取り組むため環境アドバイザーを育成してはどうか。

は非常に意識が高く、世話役の方が独自にチェックされている例もあり、大変感謝している。今後も地域で環境意識を醸成していただき、地域ぐるみで分別排出の徹底などに御協力いただくことが資源循環社会の実現を図ることになる。御発言の環境アドバイザーは、地域での環境意識の高揚のため有効な方法ではないかと考え、今後、人材の確保や育成方法などの面で可能かどうかも含めて検討していきたい。

### 入札制度の第三者機関設置

**角谷敏男議員** 入札制度の改善で第三者機関が設置されるが、談合疑惑の調査結果が影響したのなら、具体的な問題点を明らかにしていただきたい。

**市長** ごみの分別は、市民の自覚とモラルにおいて排出いただいているが、町内会によって



ごみ集積所の様子

**助役** 入札制度の見直しは昨年十二月議会の市長答弁を受けてのことである。昨年末に農業集落排水の談合情報があったわけだが、これからは、公共事業の減により受注競争はますます厳しくなってくる。その中で不正がないよう、発注者側のチェック体制という意味で、弁護士など学識経験を有する方々の第三者機関を設置し、公共工事の透明性、公正性を確保しようとしたものである。



## 市議会内に市町村合併研究会を設置

市町村合併についての研究を深めるとともに、今後の対応等について検討するという趣旨で、各党派から選出された議員十七名で「市議会市町村合併研究会」が設置されました。

## 合併研究会の活動

初回を二月二十三日に開催。

座長に山田幸夫議員、副座長に橋尾泰博議員を互選し、研究内容や月一回程度の会議の開催、先進地視察を行うことなどを決めました。また、県東部十五市町村長をメンバーとする「市町村合併に関する研究会」の検討

状況に基づく、合併の必要性、効果、合併後のまちづくりのイメージなどについて、企画部長から説明を受けました。

二回目は、「同研究会」の調査・研究最終報告が出された二月二十一日に開催し、企画部長より八つの合併パターンごとに地域の将来ビジョン、財政シミュレーションなどの報告がありました。その報告では東部地域十五市町村は、合併の素地を共有しており、市町村合併を行うべき。その際、大規模合併は行政改善効果が大きいと結論付け、平成十六年十月の合併を目標としております。

視察は四月十日から十二日にかけて、熊本市と唐津市を訪問し、合併議論の背景と経緯、合併に対する住民の動向、合併の効果と課題、合併に対する議会の取り組みなどについて研修を深めました。

熊本市は、昭和六十三年に飽託郡四町からの当市に対する合併申請・陳情が契機となり、平成三年二月に四町との編入合併に至ったものです。

唐津市は、平成六年二月に唐津市・東松浦地域十市町村の首長、議長で構成された合併懇話会が発足、平成十一年十一月には任意合併協議会を設置し、合併の可否を含め、新市の将来像や合併協定事項について具体的に検討されています。本年六月に法定協議会を設置し、合併特例期間内に十市町村が新設合併する予定となっております。

なお、正副座長以外の会員は次のとおりです。(議席順)  
小橋太一・銀杏泰利・谷口満・佐々木紘一・森田紘一郎・高見則夫・松本信光・村山洋一・角谷敏男・河川洋々・国富三郎・河越良二・武田えみ子・三谷伝・田中英教

## 行政視察報告

定になっています。

## 行政視察のようす(熊本市)

また、その後研究会を二回開催し、合併に対する鳥取市の方向性、議会としての取り組みなどについて話し合いました。今年六月に研究会としての意見をまとめ、議長及び議会運営委員会に報告する予

## 市のホームページから会議録が検索できます

<http://www.db-search.com/tottori-c/dsweb.cgi/>

市のホームページから、市議会会議録がご覧いただけます。

閲覧可能なのは、平成十三年一月の第一回臨時会以降です。

## 閲覧方法

①市のホームページにアクセス。  
②メニューから「市議会」を選択。  
③鳥取市議会「会議録の検索と閲覧」のトップページへ。

検索方法  
検索語や発言者などを指定して、自由に検索してください。検索語はいくつでも同時に指定できます。

※「市議会だより」もホームページからご覧いただけますのでご利用ください。

## 次回定例会のお知らせ

6月11日(水)	開会・提案説明
12日(木)	休会
13日(金)	一般質問
14日(土)	一般質問
15日(日)	休会
16日(月)	休会
17日(火)	一般質問
18日(水)	一般質問・質疑
19日(木)	質疑・委員会
20日(金)	委員会
21日(土)	委員長報告・討論・採決閉会

※この日程は変更になる場合があります。

## 編集委員会を設置

市民に親しまれる紙面づくりを目指して、新しく編集委員会を設置しました。委員は次のとおりです。(委員は議席順)

委員長 河越良二(新政)  
副委員長 河川洋々(民世)  
委員 銀杏泰利(公明)  
寺垣健二(21)  
角谷敏男(共産)

## あとながき

「市議会だより」が新しくなりました。古紙配合率100%再生紙を使用し、表紙と裏面をカラー化、活字も少し大きくしました。ご意見、ご感想等がありましたら、議会事務局までお寄せください。

電話 二〇一三三四三  
FAX 二〇一三〇四九